

氏 名	中 川 和 彦
授 与 し た 学 位	博 士
専 攻 分 野 の 名 称	医 学
学 位 授 与 番 号	博乙第 4136 号
学 位 授 与 の 日 付	平成 18 年 9 月 30 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	XAGE-1 Expression in Non-Small Cell Lung Cancer and Antibody Response in Patients (非小細胞性肺癌におけるXAGE-1の発現及び肺癌患者における抗体反応)
論 文 審 査 委 員	教授 谷本 光音 教授 田中 紀章 助教授 猶本 良夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

XAGE-1 はデータベースを用いて同定された遺伝子で、癌精巣抗原様の発現パターンを有し、*XAGE-1 a,b,c,d* の 4 種類のトランスクリプトバリアントが同定されている。非小細胞性肺癌組織における 4 つの *XAGE-1* バリアントの mRNA 発現及び蛋白発現、肺癌患者における XAGE-1b に対する液性免疫応答を検討した。*XAGE-1b* mRNA は肺癌組織 49 例中 15 例に、*XAGE-1d* mRNA は 49 例中 6 例に発現していた。*XAGE-1a,c* は発現していなかった。*XAGE-1b* は腺癌 31 例中 14 例 (45%) 他の組織型では 18 例中 1 例(6%)に発現していた。XAGE-1 モノクローナル抗体を用いた免疫染色による検討では *XAGE-1b* mRNA 陽性 15 例中 14 例、mRNA 陰性 34 例中 1 例に蛋白発現を認めた。*XAGE-1b* 抗体産生は腺癌患者 56 例中 5 例に認められたが、他の組織型の肺癌患者 18 例には認めなかった。*XAGE-1b* は肺腺癌組織において高率に強発現しており、抗原性が高く、肺腺癌に対する免疫治療の標的分子になりうると考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、癌精巣抗原である XAGE-1 の異なる転写産物 *XAGE-1a, b, c, d* の発現様式について非小細胞肺癌患者検体を用いてその mRNA と蛋白発現を調べた結果、*XAGE-1b* が頻度高く発現していることを見出している。さらに、こうした発現とこれに対する自家抗体産生を 1 例に見出して、免疫沈降法により *XAGE-1b* に特異的抗体賛成を証明している。自己の腫瘍に対する免疫学的反応の研究と癌免疫への臨床応用の分野で重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認めます。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。